

企 画 書

企 画 名	防犯訓練	
日 時	令和3年 11月1日(月)	
場 所	第一活動室・第二活動室	
目 的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常に潜む危険を予測し、危険を回避し安全な行動をとることができるようにする。 ・ 実際に不審者が施設に侵入してきたことを想定した訓練を行う。 ・ 事前に職員は警察の方に防犯研修や指導をして頂き、当日の訓練に繋げる。 	
時 間	内 容	備 考
事前研修 10.25(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 石川警察署生活安全課の方を招き、防犯研修を行う。 ① 施設内を案内して、危険な場所や侵入されやすい場所などを特定してもらう。 ② 特定した場所の防犯方法や不審者を対応など実践的な訓練の内容について。 ③ 『いかのおすし』について 	
13:00	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯訓練開始 ① 防犯訓練についての説明。 	進行・司会 A
13:10	② 防犯についての動画視聴。	カメラ
13:20	③ 動画の感想。	T
13:25	④ 不審者が来た場合の合言葉や実際に行う訓練についての説明。	不審者対応
13:45	<ul style="list-style-type: none"> ⑤ 実践訓練開始(全員外に出ている状態で始める) ・ 門扉から不審者が侵入 ・ 合言葉を大きな声で全体に伝える ・ 男性職員は不審者を対応。 ・ 女性職員は児童を誘導しながら第一・第二活動室に逃げる。 ・ 逃げた場所の窓や玄関の鍵を閉め、一か所に児童を集めて110番。警察に指示仰ぎ待機する。 ・ 児童の安全の確保や警察が到着するまで、イスなどを使い不審者を威嚇し動きを止める。 ・ 不審者撤退 	A・T 不審者役 近隣児童館の 男性職員 児童誘導係 兼 タイムキーパー M・I
13:50	⑥ 振り返りプリントを記入。	
13:55	⑦ 感想発表	
14:00	・ 終了	

事前研修 10.25(火)

★事前に警察署の方から防犯研修を受けた。

侵入の恐れがある場所や死角になっている場所をピックアップして頂き、人感センサーライトやダミーの防犯カメラ設置を行って抑止力に繋がる環境を整える。

- ・門扉に施錠をする。
- ・凶器になりそうな物は外や玄関に置かない。
- ・児童が外で遊ぶ場合は、職員も常時見守りに入る。
- ・門扉の前に、どのような人が通りかかったか確認する。

★不審者が来た場合。

- ・知らない人には、直ぐに近づかない。(1.5m以上は離れて対応する)
- ・椅子を刺股代わりに使って、躊躇せずに突く。
- ・合言葉を児童と決めて共通理解を図る。
- ・不審者が来た際に、緊急時の役割分担を決めておく。
- ・『助けてー』と叫ぶ。
- ・避難経路を確保する。

★いかのおすし

- ・児童に不審者を想像してもらい、『いかのおすし』を具体的に伝えていく。
- ・大声で助けを呼ぶ練習が必要。
- ・『いかのおすし』の ☺は具体的にどんな感じだったか伝え方を教える。

★防犯訓練での反省・子どもたちの様子。

★子どもたちの様子。

- ・動画を見た後の感想で、直ぐに手が上がらずリアクションが薄く感じた。
- ・合言葉を決めているときに積極的に参加していた。
- ・訓練時に部屋に避難した際に、一か所に集まって隠れることができた。
- ・最後の振り返りプリントでは、ほとんどの児童がしっかりと悩むことなく書くことができた。
- ・防犯訓練の意味が理解していない児童がいて、実践訓練で逃げるのが遅れてしまった。
- ・第一・二活動室に避難した際に、自然に一か所に集まって静かに待機することができた。
- ・避難完了時間は1分26秒。

★反省点。

- ・当日の利用者人数の把握が曖昧であったのと、第一・二活動室の二手に避難したので全員が避難できたか確認が取れなかった。
- ・不審者が門扉から侵入したが、不審者側の第一活動室に支援員一名・児童二名が避難した。
危険性が高くなるため、不審者から離れた活動室に避難する。
- ・児童を避難させる際に、一緒に逃げながら避難する支援員と、全員が避難したのを確認する支援員の担当に分けた方が良い。
- ・実際に110番の流れを実際に行う。
- ・色々な事を想定して、誘導場所・避難経路を確保する。